

Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) 先天性代謝異常検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
26	6,358	104.9	6,180	129	2	47	400	350	37	12	1	15	15	-	-

(1)-1 ガラクトース血症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
27	6,436	107.5	6,303	24	-	88	456	450	2	2	2	2	2	-	-
28	6,093	104.7	5,939	25	-	119	455	413	1	4	4	4	2	-	-
29	6,051	106.1	5,921	25	-	105	332	327	-	4	1	4	3	1	-
30	5,772	103.9	5,636	21	-	115	330	327	1	1	1	1	1	-	-

(1)-2 先天性副腎過形成症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
27	6,436	107.5	6,316	106	1	13	456	424	25	6	1	7	6	1	-
28	6,093	104.7	5,985	102	1	5	455	420	29	6	-	7	4	3	-
29	6,051	106.1	5,964	77	1	9	332	311	19	2	-	3	-	2	1
30	5,772	103.9	5,687	75	-	10	330	314	12	4	-	4	1	3	-

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

* H27より「先天性代謝異常検査」の内容を「ガラクトース血症検査」及び「先天性副腎過形成症検査」に分割してしている。

(2) クレチン症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
26	6,358	104.9	6,279	68	3	8	400	392	5	3	-	6	2	3	1
27	6,436	107.5	6,376	48	-	12	456	451	1	3	1	3	2	-	1
28	6,093	104.7	6,028	60	1	5	455	352	2	4	-	4	-	3	1
29	6,051	106.1	5,987	54	2	8	332	325	7	-	-	2	-	-	2
30	5,772	103.9	5,701	59	-	12	330	322	4	4	-	4	2	-	2

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(3) タンデムマス法検査

区分 年度	初 回 検 査							再 検 査						精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果					検査数	結 果			
			カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	カットオフ値内	再採血	要精密検査	不備検体		検体不良	正常	経過観察	陽性
26	6,421	105.9	6,336	34	3	48	-	386	377	5	4	-	-	7	1	5	1
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
28	6,091	104.7	5,905	76	-	107	3	453	403	42	5	3	-	5	2	3	-
29	6,052	106.1	5,944	5	1	102	-	331	330	-	-	1	-	-	-	-	-
30	5,772	103.9	5,657	7	3	105	-	330	326	2	1	1	-	4	2	1	1

2. 母子保健推進事業

(1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日	出席者数
評価運営委員会	1) 健やか親子21(第2次)の推進について 2) 本県の母子保健の現状と課題について ・子育て世代包括支援センターについて ・不妊治療、相談について ・先天性代謝異常等検査について ・新生児聴覚検査について ・産婦健康診査について ・産前産後ケアセンター事業について ・乳幼児アレルギー調査について 3) その他	3月5日	20
			20

(2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
中 北	母子保健推進会議	テーマ: 周産期のメンタルヘルスについて (1) 昨年度からの取り組み経過 (2) 精神科領域との連携、産科・地域でできるフォローについて意見交換	2月13日	26
	市町担当者会議	・子育て世代包括支援センターについて ・産婦健康診査事業について ・妊娠・出産包括支援事業について(産後ケア事業) ・発達特性をもつ児への支援について	5月9日	13
峡 北	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市担当者会議	・産婦健康診査事業について ・新生児聴覚検査について ・母子保健地域組織育成について ・今年度の母子保健担当者会議について ・その他	6月21日	10
		・管内の母子保健の状況 ・産前産後の対象者支援について ・母子保健地域組織育成について ・その他	10月29日	9
峡 東	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市担当者会議	実績無し	-	-

峡 南	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市町村担当者会議	・会議要領および年間計画案の確認 ・各町の5歳児の肥満状況について検討	6月1日	9
		・要保護児童対策協議会について	8月2日	8
		・新生児聴覚検査、産婦健診について ・発達障害児支援についての各町の課題 (子どもの心総合拠点 ワーキンググループに関連して)	10月16日	6
		・各町の母子保健の課題について ・リーフレット「自分がもらった体を大切に 生きいきと」に 載せるデータの検討	11月22日	8
		・各町の発達障害の現状について	1月25日	11
		・各町の発達障害の現状について2 ・平成31年度の計画	3月18日	10
富 士・東 部	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市町村担当者会議	【第1回】 ○平成29年度母子保健担当者会議の状況について ○産婦健診の現状と課題について ○新生児聴覚検査の現状と課題について ○その他	8月27日	24
		【第2回】 ○産婦健診の取組状況と課題について ○新生児聴覚検査の取組状況と課題について ○都留市立病院の産科の状況 ○その他 ・富士・東部管内の子どものむし歯の状況 ・AMED育成疾患克服等総合研究事業について ・年金機構からの状況提供 ・乳幼児健診母子保健情報の利活用の促進について	1月15日	23
			合 計	157

(3) 研修、事例検討会

保健所名	内容	出席者数
中 北	・講義「周産期のメンタルヘルス～産後の早期把握と早期支援を目指して」	19
	・講義・グループワーク 「精神科へのつながりが必要な対象へ各立場でできるサポートについて」	34
	・事例検討	18
	・事例検討	15
峡 北	発達に偏りがある児の早期把握、早期支援のため、保健師のアセスメント能力の向上を目的として実施 ・講義「親支援のポイント」 ・事例検討	7
峡 東	発達特性のある児の早期発見・早期支援を行うため、母子保健に従事する保健師等の知識や技術の向上を目的として実施 ・講義 「健診等での面接手法やアセスメントのポイントについて」 ・事例検討会	11
峡 南	講義「発達の気になる子とその家族への支援のポイント」 グループワーク 全体発表	33
富 士・東 部	事例検討会 「児への適切な養育ができない母親への支援方法の検討」	15
合 計		152

(4) 母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し母子保健関係者等に閲覧、貸し出しをおこなう事業。
中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

(H 30)

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸し出しの内容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
23	35	58	1	14	19	24
24	35	35	4	4	29	-
25	31	31	2	4	26	-
26	33	33	2	8	27	-
27	25	25	-	1	24	-
28	14	14	-	2	12	-
29	16	16	40	2	14	-
30	19	19	0	0	19	-

3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

(1) 地域組織育成者等研修会

① 県実施

月日	内容	出席者数
10月5日 (金)	開催時間:13時30分～17時 会場:県庁防災新館409会議室 内容:①講義(60分):愛育班活動の基本に立ち返り、それぞれの役割を再確認しよう 講師:山梨県福祉保健部健康増進課 課長補佐 渡邊千奈美 氏 ②理事研修会報告(20分)、グループワーク(80分)、 発表・まとめ(30分)等	20名

② 保健所実施

(H30)

	内容	回数	出席者数
中 北	会長研修会、理事研修会	2	98
峡 北	育成者研修会	1	15
峡 東	実績なし	-	-
峡 南	活動発表会、グループ討議	1	61
富士・東部	役員研修(ミニ講義)	1	6

(2) 組織の状況

(平成30年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
中 北	4	29	422	4,970	85,550
峡北支所	3	48	323	1,538	46,351
峡 東	2	8	40	323	6,307
峡 南	5	13	116	456	11,672
富士・東部	8	10	30	352	15,822
計	22	108	931	7,639	165,702

4. 長期療養児療育指導事業(平成30年度)

(1)療育等相談指導事業

①相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	76	30	24	65	155	28	34	8	13	7	59	46	7	3	2	557
延人数	83	33	49	56	168	28	65	12	18	7	89	50	23	4	4	689

②相談理由

	相談結果			
	指導済み	経過観察	他機関紹介	その他
家庭看護	346	14	-	-
食事・栄養	33	2	-	-
歯科保健	-	-	-	-
福祉制度の紹介	29	-	-	-
精神的支援	7	-	-	-
自立心の育成	2	2	-	-
学校等との連携調整	12	3	-	-
家族会等の紹介	-	-	-	-
その他	494	31	-	-
計	923	52	-	-
小児慢性特定疾患給付児(再掲)	923	52	-	-

(2)巡回相談事業

①個別相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
延人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②集団相談

管内	相談者数	内容

(3)ピアカウンセリング

管内	回数	参加数	(再掲)児	内容
中 北	1	7	0	子どもの自律に向けて 保護者がサポートできること
峡 南	1	6	3	1型糖尿病の患児及び家族のつどい
富士・東部	1	5	2	プラダー・ウィリ症候群をもつ児の保護者交流会
計	3	18	5	

(4)交流会、学習会

管内	回数	参加者数		内容
		(再掲)児		
中 北	1	2	2	若年性関節リウマチ 交流会 ～生涯にわたり自己管理できる子どもの成長を支える～
中 北	1	7	-	子どもの自律に向けて 保護者がサポートできること
峡 北	1	8	1	子どもの発達と治療をどのように支援していくか 交流会
峡 東	1	3	-	保護者のつどい(心疾患)
峡 南	1	6	3	1型糖尿病の患児及び家族のつどい
富士・東部	1	5	2	プラダー・ウィリ症候群をもつ児の保護者交流会
計	6	31	8	

(5)支援関係機関(者)連絡会議

管内	参加者		処遇検討した ケース数	内容
	回数	人数		
中 北	6	62	6	支援方針の確認 災害時について
峡 北	2	14	2	関係機関での情報共有及び今後の支援について検討
峡 東	12	84	43	ケースの情報共有、支援方法の検討
峡 南	1	5	1	最近の療養状況の確認 災害時個別支援計画の確認
富士・東部	0	0	0	
計	21	165	52	

(6) 発達等母子保健専門相談(遺伝相談)(平成30年度)

①各保健所での保健師による一次相談

	相談			相談延件数	相談来所延人数	医師との相談紹介実件数
	実件数	来所相談	電話相談			
中北	3	1	2	3	2	2
峡北	2	2	-	2	2	-
峡東	6	-	6	6	-	6
峡南	2	1	1	2	1	2
富士・東部	3	1	2	3	1	-
計	16	5	11	16	6	10

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談		
イ 疾患に関する相談	5	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患による子どもの生活への親の思い ・疾患の遺伝性、遺伝する確率について ・遺伝性疾患の子どもへの伝え方について
ウ 出生前診断に関する相談		
エ その他	10	<ul style="list-style-type: none"> ・治療方針について知識を得るため ・遺伝子検査について ・ダウン症の関連疾患について ・病院のフォローアップ外来について、親の会について ・有効なリハビリテーションについて ・疾患の説明において、遺伝的な説明はどの程度・どのような内容が行われるのか ・食事指導について ・母親へのフォローについて
計	15	

②医師による二次相談

相談申し込み保健所名	相談申込件数	相談実件数	相談延件数	相談来所延人数	相談終了実件数	相談継続実件数
中北	2	1	1	1	-	1
峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	6	6	6	6	-	6
峡南	2	2	2	2	-	2
富士・東部	-	-	-	-	-	-
計	10	9	9	9	0	9

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談		
イ 疾患に関する相談	9	<ul style="list-style-type: none"> ・治療方針等
ウ 出生前診断に関する相談	1	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚後の出生前診断
エ その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・母親が遺伝疾患の娘が遺伝検査をすることについての相談 ・発症前診断について
計	12	

5. 女性健康相談事業

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	10	395	18	399
24	56	583	64	584
25	36	549	38	549
26	44	548	44	548
27	65	499	65	499
28	117	432	117	432
29	162	429	162	429
30	354	635	354	635

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行

6. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	71	22	170	64
24	90	34	236	97
25	93	29	281	88
26	93	27	293	95
27	88	24	289	69
28	87	26	276	81
29	66	6	251	33
30	67	4	228	15

平成16年4月開設

7. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
23	398	722	195	102,402,681
24	469	828	251	118,200,071
25	497	871	239	115,072,259
26	586	1010	314	134,725,129
27	588	989	280	139,716,573
28	542	874	304	155,583,351
29	479	759	251	132,540,652
30	515	767	273	139,137,966

- ・平成19年度:1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成21年度:1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成23年度:1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成
- ・平成25年度:C(以前凍結した胚を用いた移植及びF(受精に用いられる卵が得られなかった)場合の助成額が7万5千円に変更
- ・平成26年度:平成25年度までの申請者及び平成26年度も新規に申請した40歳以上の方に関しては従前の通り。平成26年度に新規申請した、治療開始時点で39歳以下の方は年間回数制限なしの計6回を限度に助成
- ・平成27年度1月:男性不妊治療に対して上乗せ助成。初回申請時の助成上限額の拡充
- ・平成28年度:妻の治療開始時点の年齢が、39歳以下の場合6回、40歳から42歳の場合3回を上限に助成。43歳以上は助成対象外。

8. 小児医療給付

(1) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	25	26	27	28	29	30					
						総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
～ 1,000g	20	25	17	20	16	12	8	0	1	0	3
1,001g ～ 1,500g	28	29	17	25	24	23	14	1	2	2	4
1,501g ～ 1,800g	26	30	26	23	32	34	15	2	6	3	8
1,801g ～ 2,000g	28	40	35	35	41	37	20	7	4	1	5
2,001g ～ 2,300g	1	5	8	6	4	4	4	0	0	0	0
2,301g ～ 2,500g	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0
2,501g ～	0	5	7	2	3	1	1	0	0	0	0
合 計	103	137	110	112	121	111	62	10	13	6	20

(2) 小児慢性特定疾病医療費支給認定事業給付状況

区分 \ 年度	24	25	26	27	28	29	30
悪生新生物	75	120	67	79	78	74	78
慢性腎疾患	68	87	66	65	56	43	43
慢性呼吸器疾患	37	47	33	36	33	33	36
慢性心疾患	40	57	45	56	54	58	56
内分泌疾患	261	259	221	199	170	159	167
膠原病	26	35	24	26	30	32	33
糖尿病	47	54	52	42	38	37	42
先天性代謝異常	26	28	21	7	8	6	9
血友病等血液疾患	17	20	17	13	13	13	17
免疫疾患				5	5	5	4
神経・筋疾患	31	50	38	52	44	53	50
慢性消化器疾患	29	41	31	42	47	50	50
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群				2	4	5	5
皮膚疾患				3	2	3	3
骨系統疾患							0
脈管系疾患							0
合 計	657	798	615	627	582	571	593

※平成27年から、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患が対象に追加。

※平成30年度から、骨系統疾患、脈管系疾患が対象に追加。

(3) 育成医療給付状況

区分		年度				30					
		26	27	28	29	総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
肢体不自由	入院	8	13	16	10	16	6	4	1	1	4
	通院	9	28	10	7	8	2	4	1	0	1
視覚障害	入院	5	3	2	0	2	0	1	1	0	0
	通院	2	4	0	0	1	0	1	0	0	0
聴覚・平衡機能障害	入院	3	8	1	0	2	2	0	0	0	0
	通院	3	6	1	0	2	2	0	0	0	0
音声・言語機能障害	入院	24	45	41	21	26	7	9	1	5	4
	通院	277	204	105	100	200	109	33	23	17	18
心臓障害	入院	44	39	34	50	80	37	14	15	4	10
	通院	2	5	1	4	2	1	0	1	0	0
腎臓障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	10	3	1	0	1	1	0	0	0	0
小腸障害	入院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
肝臓障害	入院	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	2	11	0	1	0	0	0	0	0	0
その他の内臓障害	入院	10	9	5	6	9	6	2	0	0	1
	通院	3	10	2	6	8	3	3	1	1	0
免疫機能障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		405	395	219	205	357	176	71	44	28	38

* 平成22年度から肝臓障害が追加

9. 未熟児養育医療指定医療機関・搬送用保育器等設置状況

保健所	未熟児養育医療 指定医療機関	搬送用保育器設置機関	年度 搬送実績(件)					
			25	26	27	28	29	30
中北	国立甲府病院、県立中央病院、甲府共立病院、市立甲府病院、山梨大学医学部付属病院	国立甲府病院 (甲府市医師会)	1	2	0	0	0	0
		県立中央病院(※1) (甲府市医師会)	72	69	99	95	56	-
		田辺産婦人科医院 (中巨摩医師会)	0	0	0	0	0	0
峡北		葦崎助産院(※2) (北巨摩医師会)	0	0	0	0	0	0
峡東		山梨市立産婦人科 (東山梨医師会)	0	0	0	0	0	0
		長坂クリニック (笛吹市医師会)	4	5	7	4	2	0
峡南	H12年度より設置中止		-	-	-	-	-	-
富士・東部	富士吉田市立病院、 山梨赤十字病院	山梨赤十字病院 (富士吉田医師会)	8	7	2	7	1	4
		富士吉田市立病院(※3) (富士吉田医師会)	-	-	-	-	-	1
		都留市立病院 (都留市医師会)	0	1	0	0	0	0
計	7施設	8施設	85	84	108	106	59	5

※1 H30.3より保育器の設置中止

※2 R1.5よりおはな産婦人科に変更

※3 H30.3より保育器を設置